

不適合情報

2018年6月27日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	3号機	原子炉建屋天井クレーン配電盤の基礎ボルトの点検時、電源の安全処置(停止)を行わない状態で作業していたことを確認した。当該事象の原因を調査。	G III 以下

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	その他	荒浜側焼却設備の空気予熱器点火用バーナ1次燃焼空気入口弁に動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	
2	その他	荒浜側焼却設備の空気予熱器点火用バーナ2次燃焼空気入口弁に動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	
3	その他	第二企業センターの協力企業仮設事務所移転工事において、地面掘削時に埋設水道管の損傷および水道水の漏えい(約3,400リットル)を確認した。当該配管を点検・修理。なお、当該部は仮補修済み。	